

道南

新たな夢で 広い世界を見る

苫小牧市 木村 楓海ふうか
(東京都在住)

いま私は羽田空港国際線で働いています。働いていると言っても小売店での仕事ですが、毎日たくさんの方々に英語、韓国語、中国語で接客をしています。ここで働く前に専門学校で学んでいたのは、服飾デザインについてでした。高校時代は生徒会に所属し教師を目指していました。

一貫性のない経歴ですが、これらの経験はいま、私の力になっています。母は私がやりたいと言ったことを応援してくれました。教師になりたい、服飾学びたい、上京したい、海外行きたい。母の協力もあり、多くの経験を積みました。家族のために地元で安定した仕事を選んだ方がいいかと悩んで



服飾を学んだ頃の作品

奨学金を受給した子ども達の卒業後の状況を道母連までお知らせください。自薦・他薦でお待ちしています。



勤務先の羽田空港上空から

いた時も、好きなことをやりなさいと言われました。

いつ親孝行でこの気持ちを母に返せるかはわからないけど、電話で近況を聞く母は楽しそうで、私はそれが嬉しいです。

やりたいことへ真っ直ぐ向かえた、北海道母子寡婦福祉連合会の支援と母の応援で、いま私は広い世界を見ることができています。

道東

地域や社会に貢献できる仕事を目指して

音更町 田邊 裕汰
(釧路市在住)

僕は今、実家を離れ釧路で一人暮らしをしながら大学に通っています。中学高校ではサッカーに打ち込み、キーパーとしてゴールを守り続けました。激しい練習と試合で装備品はすぐダメになり、母子会の皆様から頂いた奨学金で色々購入することが出来、とても助けられました。その当時、よく通わせて頂いた経験を生かし現在はスポーツ用品店でアルバイトをしながら公務員を目指し大学で勉強に励んでいます。



大学での勉強風景



令和5年度成人式で従妹と

僕には姉が2人いて、兄弟のように育った従兄弟が13人います。大勢の中で賑やかに育った事もあり人と接する事が好きで、僕自身が周りのみんなに助けられこれまでの人生があるように、どんな家庭環境や状況であっても夢や希望を抱き、助け合えるような世の中や社会であって欲しいという思いから、将来はそういった企画やプロジェクトに携わり、支えられる側から今度は自分が支える側として、地域や社会に貢献出来る仕事が見たいと思っています。

そして、今まで泥だらけのユニフォームの洗濯や送迎にお弁当作り、大学準備など苦労をかけてきた母に親孝行が出来る社会人となって、安心させてあげたいです。